

2017年9月期 第3四半期

決算説明



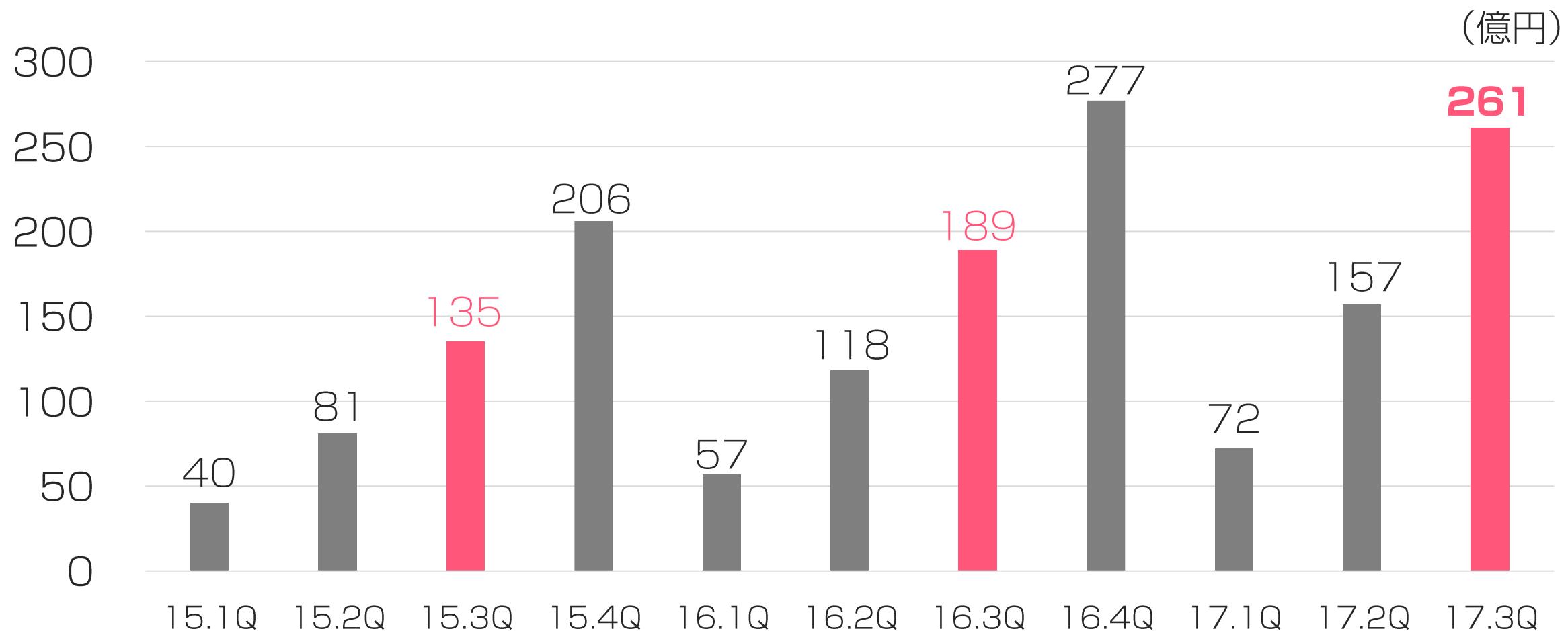
EVOLABLE ASIA

株式会社エボラブルアジア
東証第一部：6191

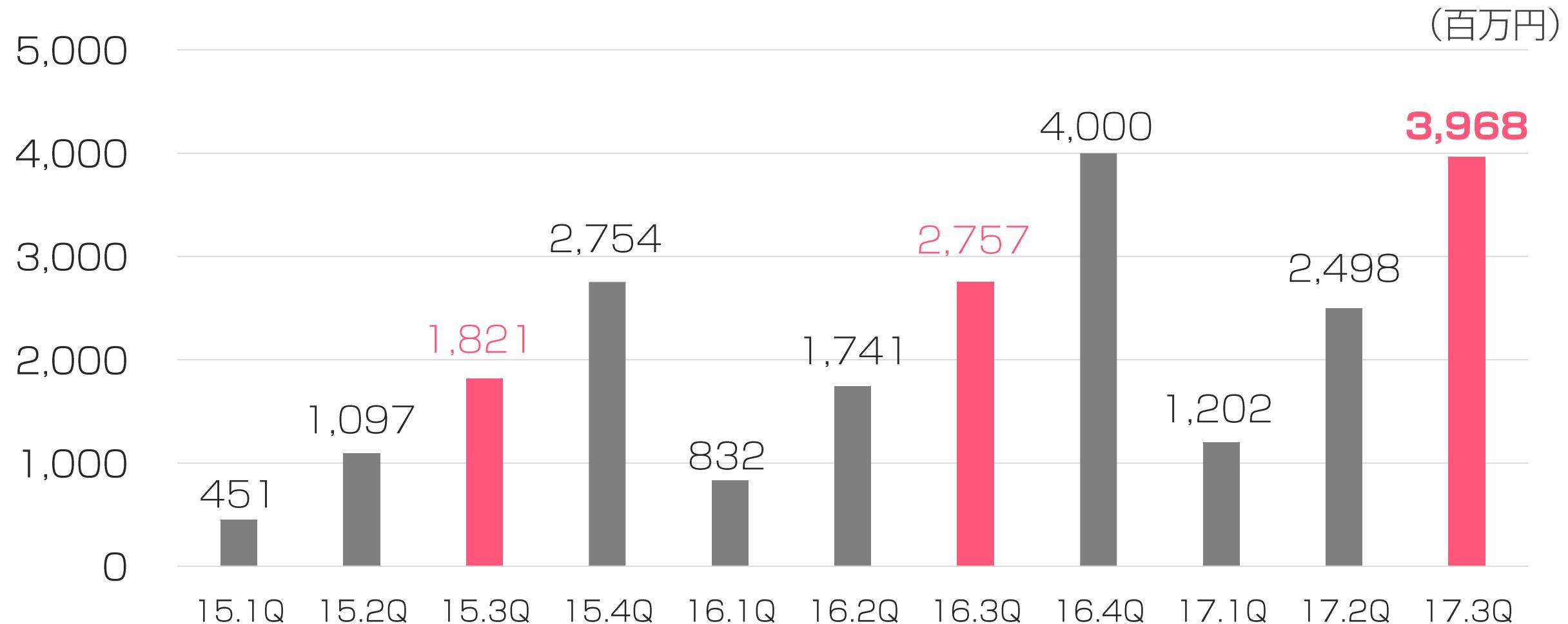
- 第3四半期にて過去最高取扱高、売上高、営業利益達成
- 繁忙期である第4四半期を残し、通期予算に対して順調に進捗
- 直近のIRリリース
「CMイメージキャラクター」「配当予想」「かんざし株式売却」「WeChat Pay」

第3四半期 決算概要

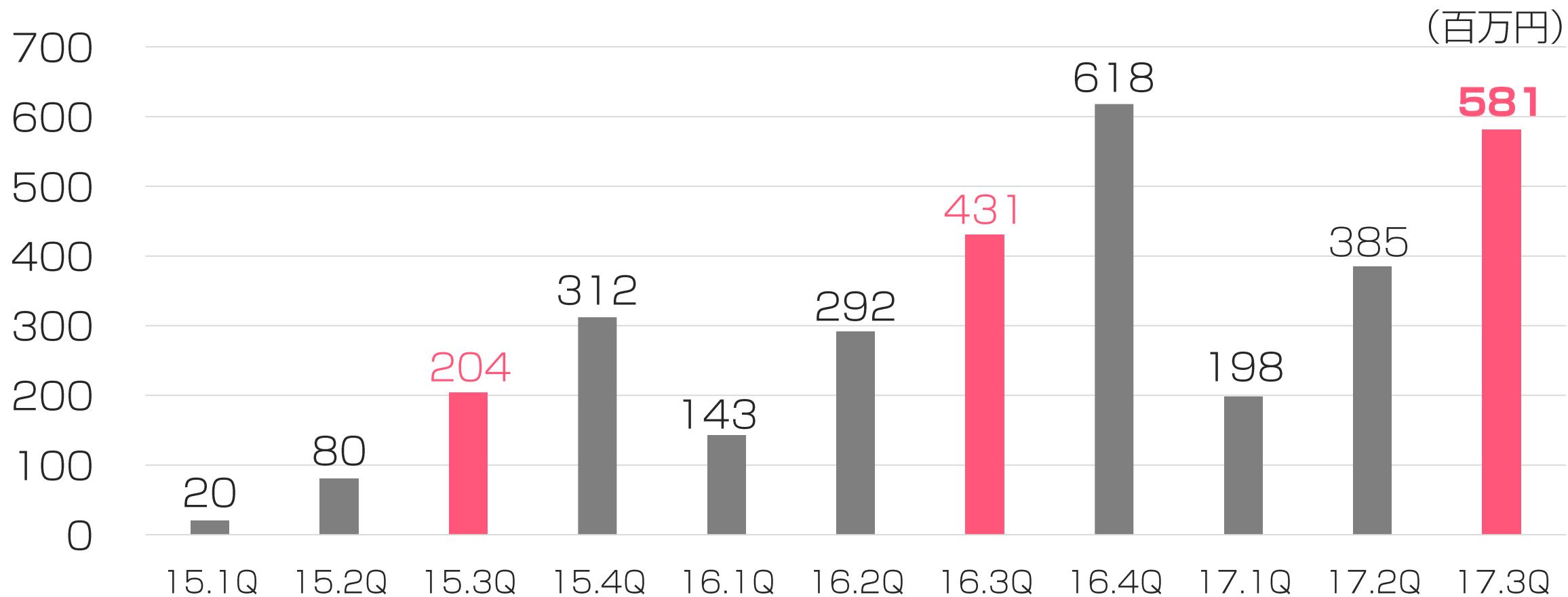
3Qとして過去最高連結取扱高 前年同期比137%



3Qとして過去最高連結売上高 前年同期比143%



3Qとして過去最高連結営業利益 前年同期比134%

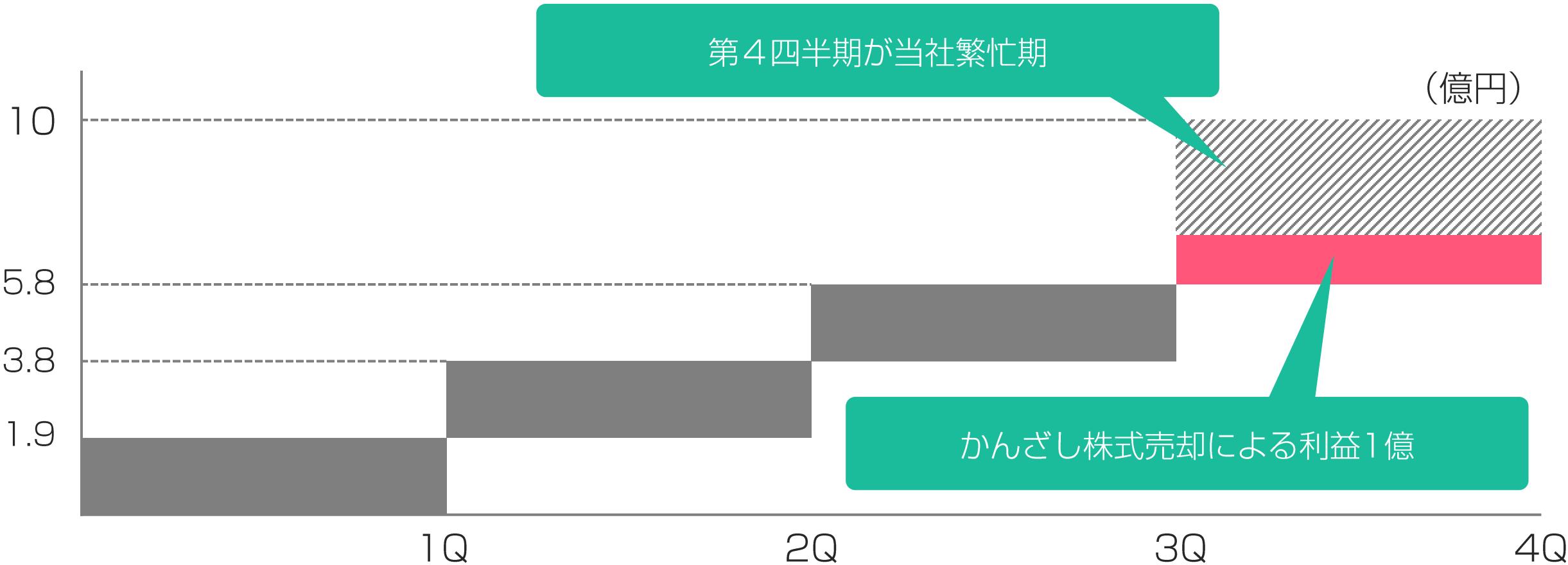


取扱高・売上高・営業利益いずれも3Q過去最高

(百万円)

	16.3Q		17.3Q		前期比
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	
取扱高	18,968	—	26,114	—	137.7%
売上高	2,757	100.0%	3,968	100.0%	143.9%
売上総利益	2,268	82.2%	3,332	83.9%	146.9%
営業利益	431	15.6%	581	14.6%	134.6%
経常利益	395	14.3%	553	13.9%	140.1%
当期純利益	238	8.6%	354	8.9%	148.3%

かんざし株式売却含め、通期予算に対して順調に進捗



自己資本比率46.3%

(百万円)

	16期末	17.3Q	前期末増減額
流動資産	4,024	4,247	+223
現預金	2,356	1,490	△866
固定資産	817	1,504	+687
総資産	4,841	5,751	+910
負債	2,470	2,898	+428
有利子負債	331	473	+142
純資産	2,371	2,852	+481
自己資本	2,276	2,664	+388
自己資本比率	47.0%	46.3%	△0.7

投資による減少

利益による増加

成長戦略&トピックス

AirTripイメージキャラクターにオリエンタルラジオを起用

国内格安航空券のご予約はAirTrip！業界内No.1のお得な航空券予約

AirTrip

予約確認 ログイン 会員登録 メニュー

国内航空券 海外航空券 国内宿泊 民泊

特典 とってもおトクなAirTripポイントのご案内 >

往復 片道

出発 出発地 到着 到着地 検索する

行き 行き 2017/8/7(月) 帰り 帰り 2017/8/8(火)

TVCMの出演決定

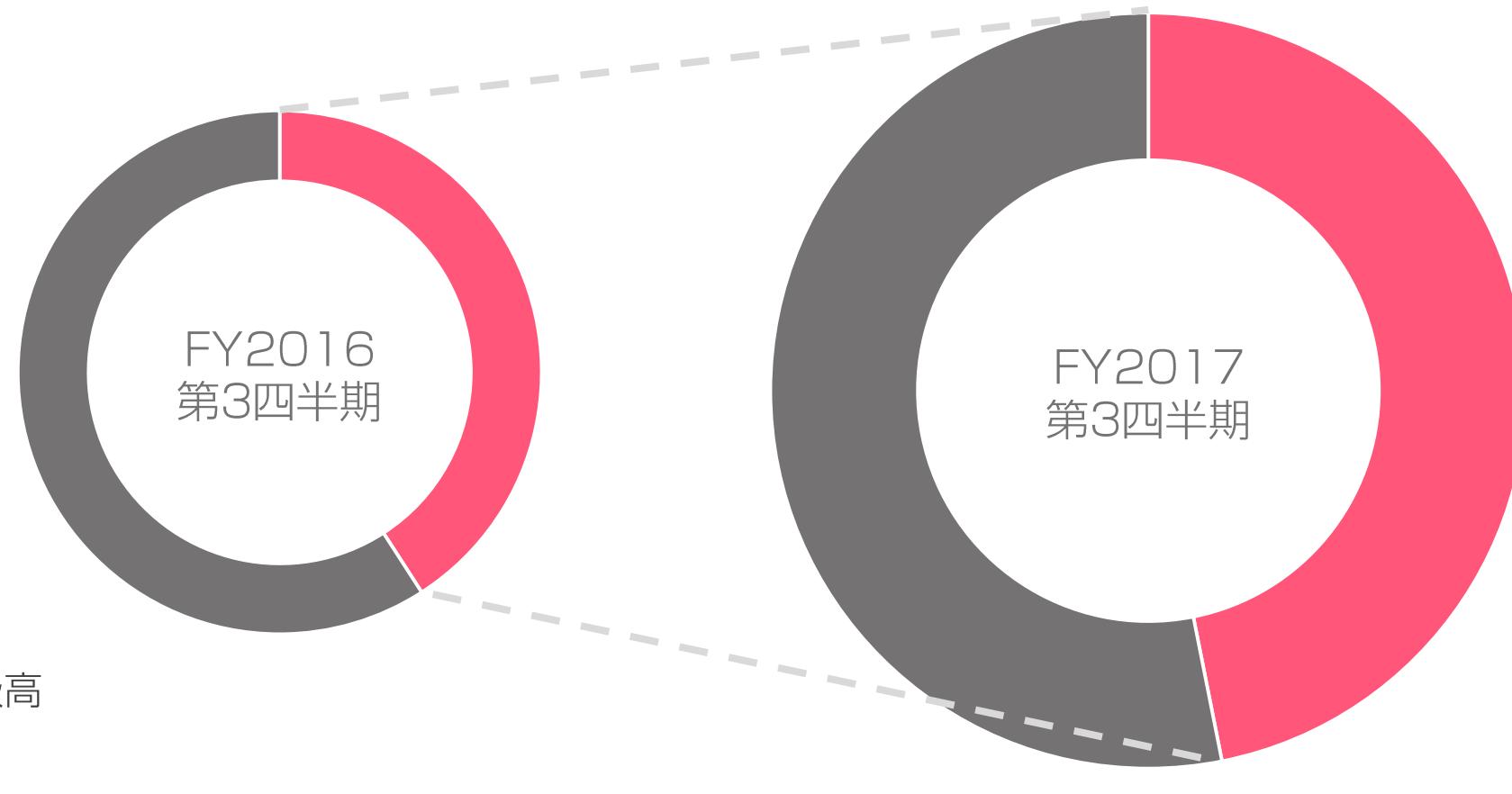
7.08.04【8/4 19時 悪天候予報に伴うノーチャージ対象空港】> 詳細を見る >

今期から放映開始予定のAirTripテレビCMへの出演、AirTripサイト上への掲載、当社コーポレートサイトのイメージキャラクターにオリエンタルラジオ起用を決定

※イメージ画像であり、実際のサイトとは異なる可能性があります



自社サイトが成長を牽引 前年同期比取扱高155%



秋山アドバイザー就任 パッケージツアーへ参入



秋山氏プロフィール

1962年生まれ、岡山県岡山市出身

1989年：沖縄ツーリスト株式会社の岡山営業所長に就任
その後、岡山支店長、広島支店長、大阪支店長を歴任

2005年：沖縄ツーリスト株式会社 取締役西日本統括大阪支店長に就任

2008年：北海道ツアーズ株式会社 代表取締役専務に就任

2009年：沖縄ツーリスト株式会社 取締役統括本部長に就任

2010年：沖縄ツーリスト株式会社 常務取締役本部長に就任

2012年：沖縄ツーリスト株式会社 専務取締役本部長に就任

2014年：沖縄ツーリスト株式会社 本土地区カンパニー取締役社長に就任

2014年：沖縄ツーリスト株式会社 ホールディングス中長期戦略本部長に就任

2014年：マークバイA株式会社を設立、代表取締役社長に就任し、2016年12月まで沖縄ツーリストホールディングスと業務委託契約を締結。

大手旅行サイトとの国内航空券販売で提携を拡大

提携先500社以上



理想の旅を、いちばん安く。
トラベルコ
TRAVELKO



etc



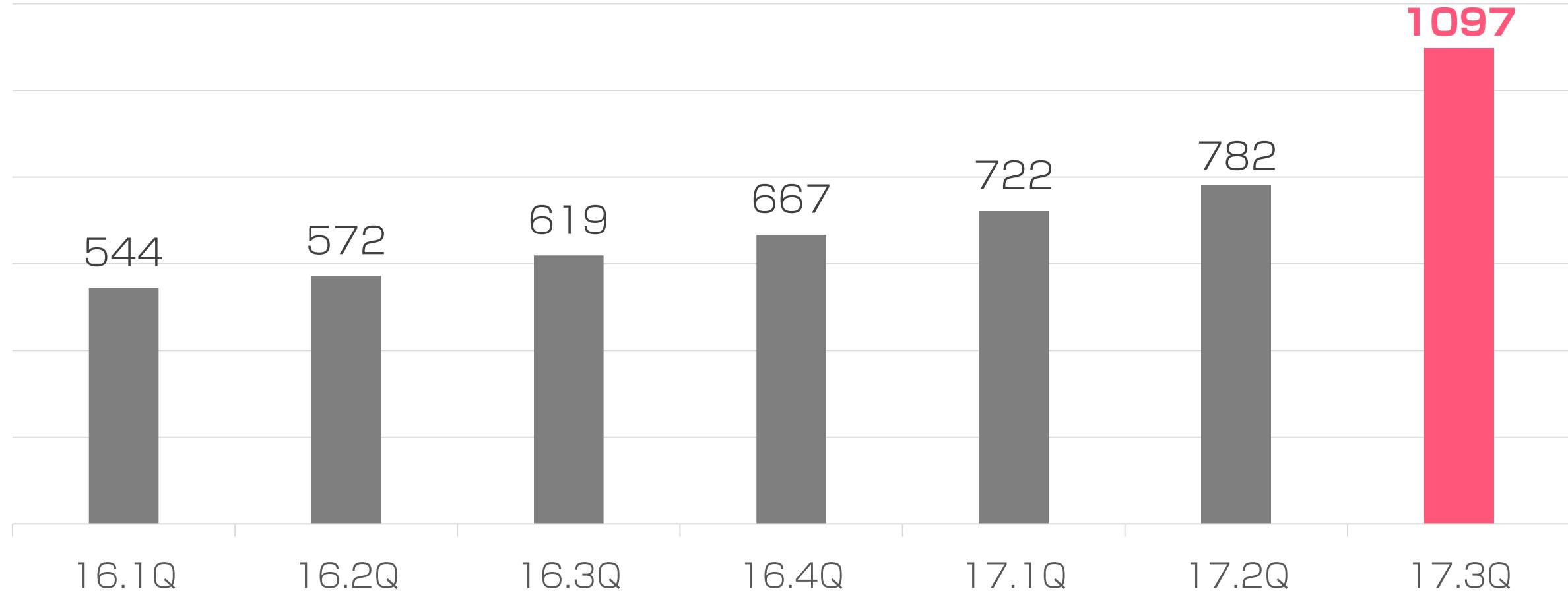
国内航空券



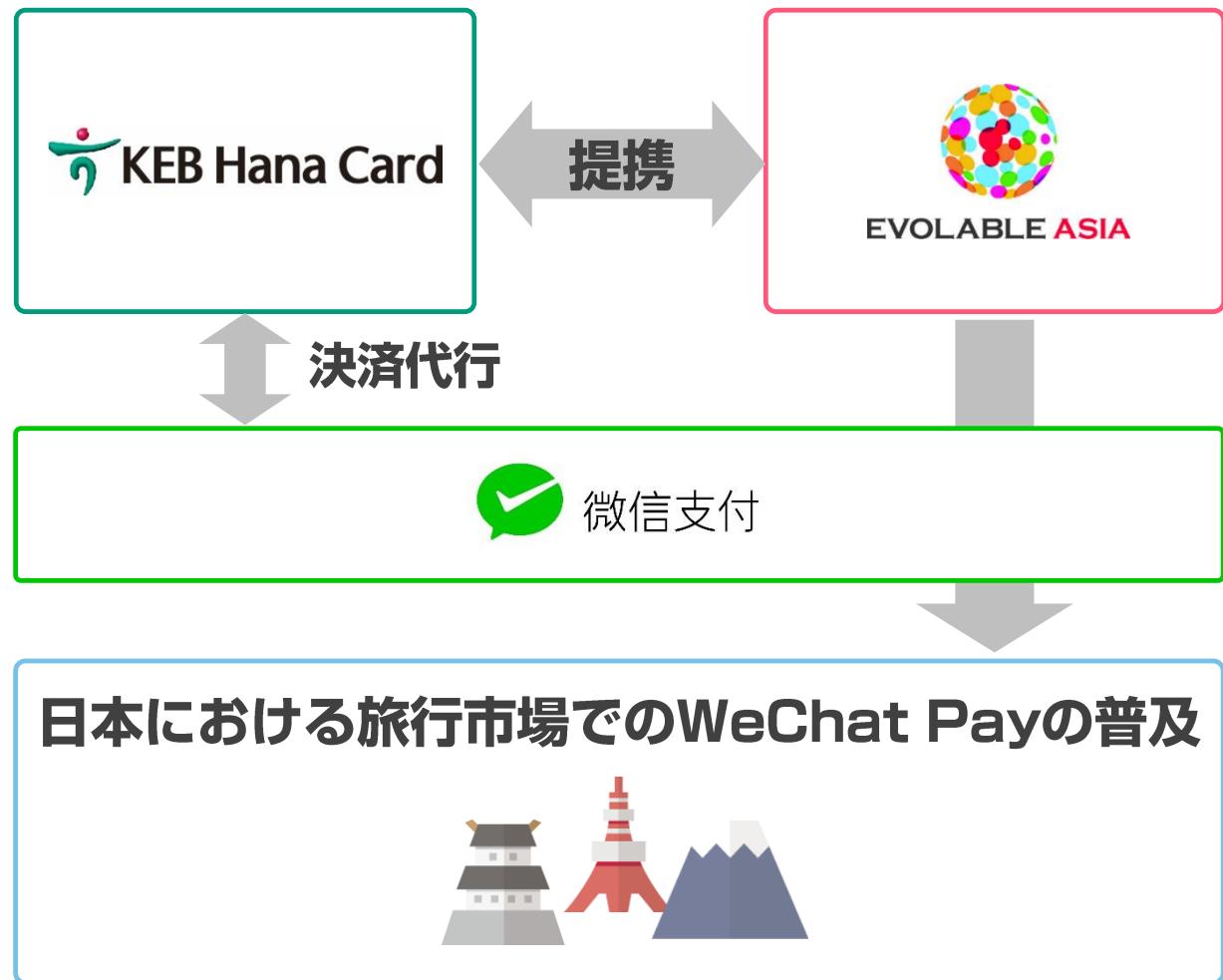
EVOLABLE ASIA

Ctrip 17年8月開始

東京マスターズ含めクライアント数1,000社突破



WeChat Payの普及に向けKEB Hana Cardと提携



微信支付

提携の狙い

現在日本においては、WeChat Payが利用できる環境は
いまだ少なく、旅館・ホテル等においても導入が進んで
いない。

当社は日本における旅行業界のベストパートナーとして
WeChat Pay決済を利用する環境の拡大を目指す

WeChat Pay概要

ユーザー数9億を誇る**世界一のモバイルメッセンジャー**
であるWeChatのプラットフォームをベースとしている
モバイル決済サービス。

QRコードを使って店舗への支払いや、アプリ間の個人送
金が可能

渋谷店、新宿店オープン 第三者割当増資による事業拡大へ



第三者割当による新株式発行

当社の100%子会社であったAirTrip Exchange社にて
第三者割当による新株発行を実施。

割当先のスター・キャピタル社代表取締役吉田氏は
①2010年の創業時より、両替事業を継続、業容拡大
②事業者や法人向けのサービスや顧客基盤に強みを有するほか、サイトを通じた外貨直送サービス等広範な事業を展開

今後、AirTrip Exchange社は、両替事業での幅広い知見やノウハウを有する吉田氏の助言を受け、より一層の事業拡大へ



センター街に渋谷店オープン



歌舞伎町に新宿店オープン

国内キャンピングカーレンタルを開始



新車15台を用意

従来より米最大手であるエルモンテRV社の提供する米国でのキャンピングカーレンタルを日本国内で販売していたが、17年6月より日本国内でのキャンピングカーレンタル事業を開始
新車15台を用意、ペット利用可能車両も

販促キャンペーン実施

アメリカキャンピングカーレンタルのご利用3,000組達成を記念し、アメリカでのキャンピングカーレンタルをご予約されたお客様に、日本国内で利用できるキャンピングカーレンタルチケット6万円分をプレゼント
車両を自社保有しており、かつアメリカでもレンタル事業を営んでいるエルモンテRVにしかできない利用促進キャンペーンであり、一層の利用拡大を見込む

新規グループ会社含め順調に推移

750名突破



ラボ人数750名突破



DeNA子会社である「Punch Entertainment」の買収や新規ラボオープンなどによるエンジニア増加により当第3四半期にてラボ人数が750名を突破

GREVOにて13タイトル運用



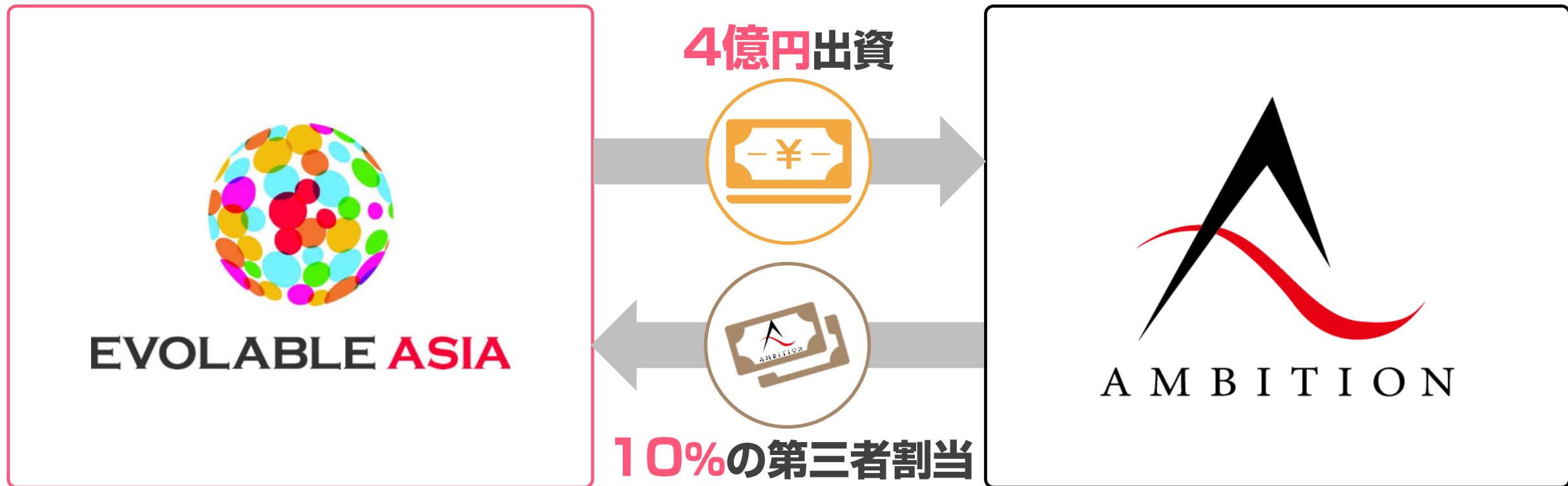
4月に設立した当社ベトナム法人とGREEのジョイントベンチャーであるGREVOにて13タイトルを運用

新規オープン



他3社オープン

マザーズ上場企業**AMBITION**株式の10%を取得



投資育成を強化 14社総投資額9.4億円



IPOなど企業価値向上目指す



かんざし株式の一部売却により利益約1億円



売却価格	100,000,000円
売却簿価	1,000,000円
売却持分割合	10%
売却日	2017年8月10日
売却後持分比率	30%

投資事業EXIT第1号

2016年10月1日から投資先企業との協業等によるシナジーの追求や、投資先企業の成長に資することによるリターンを得ることを目的に開始した投資事業において初のEXIT案件

売却背景

2016年8月の共同設立以来、事業が順調に成長し、今後かんざし社がIPOに向けて本格的な準備を開始したため

行使条件付新株予約件発行 最大で約100億円の調達

	第9回	第10回	第11回
新株予約権の発行方法	クレディ・スイス証券株式会社に対する第三者割当方式		
手取概算額		10,122百万円	
調達予定金額	2,030百万円	3,044百万円	5,053百万円
発行株数	572,200株	673,200株	841,500株
行使可能期間		24ヶ月	
発行価額合計		10,129百万円	
行使価額	3,500円	4,500円	6,000円
アップ率※1	20%	28%	33%
対発行済み株式数	3.4%	4.0%	5.0%
合計潜在希薄化率		12.4%	
本新株予約権の主な特徴	アップ率を高めに設定することで希薄化を抑制 段階的な行使価額の設定により、新株発行が段階的に進行 行使価額修正条項により機動的な資金ニーズに対応可能 行使許可型にすることで資金調達の時期をコントロール可能 自己資本比率を高めることにより、財務健全性を向上		

※1：アップ率は次の算式により計算。

第9回新株予約権：(行使価額/発行決議日前日終値－1) × 100 | 第10、11回新株予約権：(行使価額/前回新株予約権の行使価額－1) × 100

株価上昇が希薄化の生じる条件※₁ ～いずれの新株予約権もアップ率※₂ > 希薄化率～

	アップ率	希薄化率
第9回新株予約権	+20%	> 3.4%
第10回新株予約権	+28%	> 4.0%
第11回新株予約権	+33%	> 5.0%

※₁：取締役会の決議により行使価額の修正を行うことができますが、修正後の行使価額が、下限行使価額である2,918円（発行決議日の前取引日の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値の100%の水準）を下回ることはあります。

※₂：アップ率は次の算式により計算。

第9回新株予約権：（行使価額/発行決議日前日終値－1）×100

第10、11回新株予約権：（行使価額/前回新株予約権の行使価額－1）×100

資金使途はM&Aおよびブランディング

手取金の使途	想定金額	支出予定期間
① 戰略的な大型M&Aの実施	8,122百万円	平成29年7月～ 平成32年6月
② 新ブランドを中心とした認知度向上や顧客獲得を目的とするブランディングコスト	2,000百万円	平成29年7月～ 平成32年6月

①戦略的な大型M&Aの実施について

当社グループでは2020年に向けた中期経営方針に従い、取扱高1,000億円を達成すべく、既存事業の成長に加え、積極的な投資及びM&Aにより業容を拡大して参ります。

投資やM&Aの対象としては、既存事業とのシナジーを重視し、それらに関連した分野における対象先選定を行っております。既存事業と直接的な事業シナジーを生じさせる企業に加え、広く当社の属する旅行産業、観光産業やIT産業での対象先選定を行い、戦略的な投資及びM&Aの実施を進めて参ります。

②ブランディングコストについて

当社は、新ブランドAirTripを総合旅行サービスプラットフォームとして拡大することを目指しており、当社プラットフォームのユーザー数・会員数の更なる拡大に向けたブランディングや様々な営業施策をはじめとするマーケティングに調達資金を充当し、ブランド認知を高めることを企図しております。

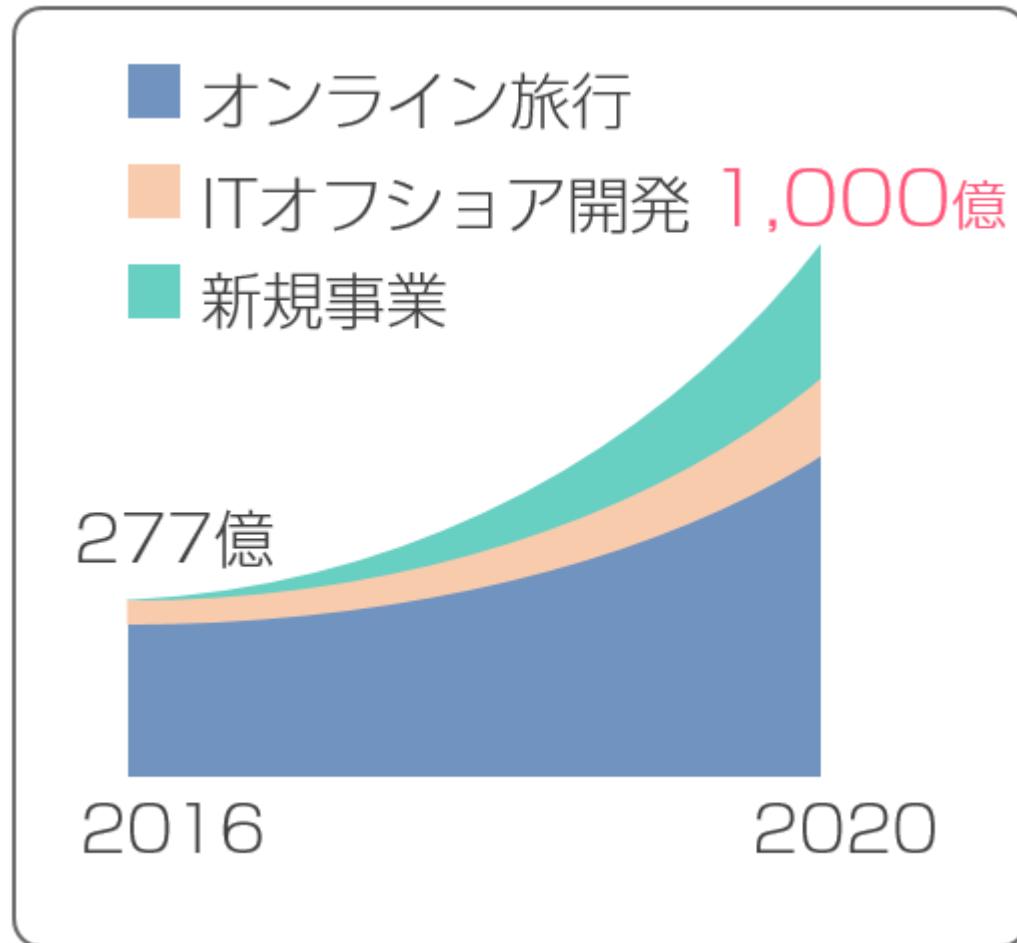
具体的な施策として、幅広くブランドの認知度を向上させるため、TVCM等を活用したマス広告や、広い世代に影響力のある人物を起用したブランディング活動を計画しております。

1株当たり7円の配当を決定 配当性向約20%

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月16日公表)	前期実績 (平成28年9月期)
基準日	平成29年9月30日	平成29年9月30日	—
1株当たり配当金	7円	未定	—
配当金総額	117百万円	—	—
効力発生日	平成29年9月30日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

2020年取扱高1,000億円

各事業でNo.1確立



国内線No.1ブランドの確立

国内線と言えば「エアトリ」と誰もが想起するブランドを確立

訪日旅行事業

- 和製No.1民泊プラットフォーム
- 国内売上No.1キャンピングカーレンタル

ITオフショア開発で日系No.1

2020年にラボ人員3,000人、開発品質・売上・開発規模いずれもITオフショア開発においてもNo.1

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。



EVOLABLE ASIA

株式会社エボラブルアジア

〒105-6219 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズ MORIタワー19F

TEL 03-3431-6191

<http://www.evolableasia.com>